



宮崎県で国内12例目の高病原性鳥インフルエンザ発生 都農町・肉用鶏農場

宮崎県2例目（国内12例目）

所在地：宮崎県都農町

飼養状況：肉用鶏（約3万羽）

経緯：

- 12月1日（火）に当該農場から宮崎家畜保健衛生所に「死亡羽数の増加」の連絡。県が農場立入検査を行い、簡易検査を実施したところ陽性を確認。
- 12月2日（水）、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、H5亜型であり高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。



香川県で国内13・14例目の高病原性鳥インフルエンザ発生 三豊市・採卵鶏農場

香川県9例目（国内13例目）

所在地：香川県三豊市

飼養状況：採卵鶏（約22.8万羽）

【疫学関連農場】採卵鶏：約12.5万羽

経緯：12月1日（火）当該農場管理者から

「死亡羽数の増加」の連絡。県が立入検査を行い、簡易検査を実施したところ

7羽中6羽（死亡鶏5羽中5羽、生存鶏2羽中1羽）の陽性を確認。12月2日（水）

遺伝子検査の結果、H5亜型であり高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確認。

1例目	11/5
3例目	11/11
4例目	11/13
5例目	11/15
6・7例目	11/20
8例目	11/21
9・10例目	12/2



香川県10例目（国内14例目）

所在地：香川県三豊市

飼養状況：採卵鶏（約2万羽）

経緯：12月1日（火）当該農場管理者から「死亡羽数の増加」の連絡。県が立入検査を行い、簡易検査を実施したところ13羽中11羽（死亡鶏11羽中9羽、生存鶏2羽中2羽）の陽性を確認。12月2日（水）遺伝子検査の結果、H5亜型であり高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確認。

自農場にウイルスを侵入させないために！

野鳥でも相次いでウイルスが確認されています。全国的に例年よりリスクが高い状況にあることを意識し、飼養衛生管理を徹底をお願いします。

1. 農場に出入りする際の人・物・車の消毒の徹底
2. 家きん舎ごとの長靴・作業着の着用、長靴・手指の消毒
3. 鶏舎周辺、農場敷地周縁への消石灰散布

※ 畜舎周囲と農場外縁部（出入口の外周）は2 m以上の幅で地面が白く覆われるように定期的に散布する。散布量の目安は1 m²当たり0.5から1 kg（2 m幅の場合、1袋で約15 m）

4. こまめな踏込み消毒槽の薬液の交換
※ 消毒液を換えていない、靴が糞便で汚れていると、消毒効果がありません。
5. 防鳥ネット※・金網・ロールカーテン等の破損の確認・修繕
鶏舎の隙間（壁、集卵・除糞ベルトの開口部）の確認・補修
※ 防鳥ネットの網目の大きさは2 cm以下又はこれと同等の効果を有するもの
6. 畜舎周囲の整理・清掃・除草を実施。

☆以下の家きんの異状を確認次第、すぐに家畜保健衛生所まで通報してください！

**香川県の事例でも、死亡羽数の増加、
死亡鶏の肉冠の黒赤色化が見られています！**



死亡率の増加 ←



顔面・とさかの
浮腫・チアノーゼ ←

南部家畜保健衛生所

TEL 04-7092-2304

FAX 04-7092-1434

※休日、夜間は転送されますので必ず5回以上のコールをお願いします。